



『心が動かされる体験と夢』

校長 萩野 幹夫

土曜日の学校公開及び PTA 総会のご参観ご出席いただき有難うございました。保護者からの声を直接お聞きできなかったこと残念でしたが、多くの方にご来校いただけたことよかったです。

さて、東京で勤務していた10年程前の話ですが、渋谷の近辺地区の多くの小学校の5年生は、情報教育の一環としてNHK放送センターへ社会科見学に行っていました。

一般的な見学コースが終わると、最後に地下のスタジオに特別に入り、番組制作関係者からこのスタジオで製作されている番組や働く人々の苦勞などのお話を聞くことができました。その時子供たちから、朝ドラの話について質問があり「2年以上前から番組の制作が始まり、2年後の世相を予測してどんなテーマのドラマを制作するかを決めます」との話を驚きました。

毎朝、NHKドラマ『半分、青い』を見ています。今回のドラマは、いろいろな困難や挫折に会いながらも、「やってまった」と前向きにたくましく、夢を追いかけて生き続ける一人の女性の姿が映しだされています。ドラマを見ながら、人の人生は、ちょっとしたことで、大きく変わるということを再認識しています。多くの方も多少なりとも同様にこのような人生経験をもってしているのではないかと思います。

3月の卒業式の校長式辞では、高校生の時に感銘を受けた『君たちはどう生きるか』という本が日本の書店の特設コーナーに置かれ、リバイバルとして今でも多くの人に読まれていることを知り、その〈どう生きるか〉について卒業生に話しました。世の中や生きる意味について次第に自らの頭で考え始めた主人公の中学生コペル君が、生き方の指針となる叔父さんのことば「世の中とはこういうもので、人生にはこういう意味があるのだと、一口に説明することはできない。だから大人になってゆくに従って勉強して、自分で見つけてゆかなくてはならない。肝心なのは、心を動かされたことから出発してその意味を真剣に考えること。そして、自分自身で『人間の立派さ』とはなにか、心底から立派な人間になりたいという気持ちを起こすことが大切」という内容でした。

今、ある教室の後ろの掲示板に自己紹介が掲載されています。どんな大人になりたいかの質問項目に、パイロット、棋士、ボルダリングの選手などいろいろと書かれています。子供たちは、何かを感じるきっかけがあり、この夢を持つことができたと思いました。子供が夢を持つことは、とても大切なことです。

校長として、今日の前にいる子供たちにしてあげたいことの一つは、夢をもってヤンゴン日本人学校から次の学校に送り出してあげることです。今年度も、子供たちにいろいろな体験を多くさせ、何か感じるものが一つでもあり、夢が広がるような経験を多くできる学校にしたいと考えています。

各先生方はいろいろと工夫した活動を考えています。ぜひ、本校の教育活動にご理解いただき、子どもの支援を共にしていただくことをお願いします。



主な学校行事予定

5/18(金) 避難訓練②	6/2(土) 創立記念日	6/11(月)~13(水) 内科検診
5/25(金) 中学部実力テスト①	6/7(木)~8(金) 歯科検診	
5/31(木) 中学部中間テスト	6/9(土) 漢字検定	



保健指導・健康診断について

保健主任 生駒 恵子

本校では、本年度より日本人看護師の黒瀬先生が常駐しており、子ども達の健康管理の一役を担ってくれています。黒瀬先生は看護師としての経験が豊富で、常に子どもたちの訴えを丁寧に聞き対応しています。また、今年も例年通り各学級に保健用品を設置し緊急処置に対応できるようにしています。さらに本年度からは、保健だよりを毎月発行し保健指導の場を充実させるとともに、健康面で子ども達が安心して学校生活を送ることができるよう日々取り組んでいきます。

今年度も6月7～13日に「学校保健法」に基づいた内科・歯科の定期健診を行います。昨年同様、内科はジャパンハート吉岡春菜先生、歯科はハン先生・松本先生にお願いします。「児童・生徒・園児に発達と成長の喜びを感じ取らせ、自己の健康や発段階階について認識できるようにする。また、各家庭にもその記録を報告し、保護者にも子どもの健康状態をお知らせするとともに、発達や成長について意識する機会としてもらう。」ことを目的に行っております。

このように、いろいろな活動を通して子ども達の発達や成長を見守っていきたいと思います。ご家庭でのご理解とご協力をお願いいたします。



水泳教室について

水泳教室担当 永谷 隆

本年度もいよいよ、水泳教室が始まります。安全に留意しながら水に慣れ親しむと共に、水泳技能の向上を目指した水泳教室にしていきたいと考えております。また、毎年、保護者の皆様には水泳ボランティアにご協力をいただき、心より深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

さて、本年度の水泳教室につきましては、昨年と同様に指導学年を前期と後期に分け、前期を小学部5・6年生と中学部、後期を小学部1・2年生と3・4年生とし、それぞれ6回ずつ継続して学習できるように計画しております。一昨年度からこの指導方法に切り替えたことにより、学習の積み重ねが可能となり、児童生徒の水泳技能の向上が顕著に見られ、より確実に定着してきていると感じております。前・後期の振り分けにつきましては、前期は実施期間が雨季にかかってしまうため水泳学習に慣れた小学部高学年の5・6年生と中学部とし、雨の少ない後期を小学部低・中学年の1・2年生と3・4年生にしております。

指導につきましては、段階的な指導を行うことを計画しております。小学部1・2年生は水泳カードの3級まで、3・4年生は2級まで、5・6年生は1級まで、そして、中学部は水泳カードの特級達成を目指しています。詳しくは、「水泳カード」をご覧ください。水泳ボランティアのご協力もいただきながらより安全な学習環境の中で、友だちと励まし合い、磨き合いながら「泳ぐこと、泳げること」の楽しさを子どもたちに深く味わわせることができるよう取り組んでいきたいと思っております。



新任者あいさつ

事務担当のノーカ ジェシーです。ミャンマーの中央にあるイエサジョー出身です。3年間、千葉県で働いた経験があり、日本のことも大体理解しています。日本語の勉強は、今も続けています。分からないことは皆さんに教えていただきながら頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。